

御影北だより

H23 9月臨時号

神戸市立御影北小学校

<http://www2.kobe-c.ed.jp/mkk-es>

被災地の子どもたちに元気と希望を（その2）

～今、わたしたちにできる効果的・継続的な支援活動を～

6月の「御影北だより」等で呼びかけさせていただきました、岩手県陸前高田市立高田小学校と大船渡市立越喜来小学校への支援活動に、児童のみなさんや保護者の皆様、そして自治会をはじめとする地域の方々など、本当に多くの皆様方にご理解とご協力を賜っておりますことを、心より感謝申し上げます。

6月以降の取組についてご報告をさせていただきます。

まずは、6月末に本校の代表委員会の子どもたちが、高田小学校、越喜来小学校の子どもたちの笑顔が増えてほしいとの願いをこめた「笑顔支援金」を募る活動に取り組みました。日曜参観時に集めていただいた支援金と合わせて総額15万円が集まり、7月22日に第1陣として送金をいたしました。さっそく、高田小学校では夏祭りの景品等に、越喜来小学校では陸上用のランニングシャツとランニングパンツに充てられたと連絡を受けました。

また、8月6日、7日に行われました「御影北なつまつり」では、自治会等の出店団体の皆様をはじめ、チャリティーTシャツの販売、PTAバザー、同窓会、一般募金等、様々な皆様方にご協力をいただきました。おかげをもちまして、60万円を超える支援金が集まりました。この「笑顔支援金」を持って、8月19日に岩手県に行き、高田小学校と越喜来小学校の校長先生に、直接お渡しをいたしました。2学期が始まってすぐのお忙しい時期ではありましたが、とても喜んでおられました。

大津波の発生から5か月以上の月日がたっていましたが、現地ではいたるところに瓦礫の山が築かれ、重機が絶え間なく動いていました。特に陸前高田市は、街そのものの姿が失せており、小学校から見えるはずがなかった海岸線が見えるほどになっていました。また、越喜来小学校は瓦礫の集積所となっており、目を覆いたくなるほどでした。そのような中でも、子どもたちは明るく元気に学校生活を過ごしており大変嬉しく感じました。そして、今後も継続した支援活動が必要であることも強く感じました。詳しいことは、機会を見つけて報告をさせていただきたいと考えています。

最後になりましたが、本校校区にご在住の矢田立郎神戸市長からも、この取組についての励ましのお手紙と支援金をいただきました。継続した支援活動のためにも、皆様方のご支援、ご協力を今後どうぞよろしくお願いいたします。

御影北小学校 教育目標
「豊かな心とたくましい体を持ち、
自ら学び実践する子どもを育てる」

校長 三木 健 司



木下邦男校長先生に笑顔支援金を
(高田小学校)



今野義雄校長先生に笑顔支援金を
(越喜来小学校)



津波直後の様子 (高田小学校)



現在の様子 (高田小学校)



運動場に押し寄せた瓦礫 (越喜来小学校)



2年生の児童とともに (越喜来小学校)



体育館の様子 (越喜来小学校)



大船渡市中心部の現在の様子